

## 運用報告書 (全体版)

### D I A M毎月分配債券ファンド

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券	
信託期間	2010年9月3日から無期限です。	
運用方針	安定した収益の確保と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行います。	
主要投資対象	D I A M毎月分配債券ファンド	D I A M内外債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	D I A M内外債券マザーファンド	国内公社債および海外の国債等のソブリン債を主要投資対象とします。
運用方法	マザーファンド受益証券の組入比率は、高位を維持することを基本とします。 国内公社債の実質組入比率は、原則として純資産総額の50%以上とします。 実質外貨建資産については、原則として為替フルヘッジを行います。 国内公社債と海外の国債等の実質組入比率は、各国の金利水準や経済ファンダメンタルズ等を勘案し決定します。	
組入制限	株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。	
分配方針	決算日（原則として毎月23日。休業日の場合は翌営業日。）に、経費控除後の利子配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。原則として利子配当等収益等を中心に安定分配を行うことを基本とします。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。	

愛称：円パワース

第101期	<決算日	2019年1月23日>
第102期	<決算日	2019年2月25日>
第103期	<決算日	2019年3月25日>
第104期	<決算日	2019年4月23日>
第105期	<決算日	2019年5月23日>
第106期	<決算日	2019年6月24日>

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「D I A M毎月分配債券ファンド」は、2019年6月24日に第106期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

<http://www.am-one.co.jp/>

# DIAM毎月分配債券ファンド

## ■最近5作成期の運用実績

作成期	決算期	基準価額			債券組入 比率	債券先物 比率	純資産 総額
		(分配落)	税金 込み	期騰 落率			
第14作成期	77期(2017年1月23日)	円 9,182	円 10	% △0.0	% 95.1	% △8.8	百万円 2,726
	78期(2017年2月23日)	9,190	10	0.2	95.7	-	2,670
	79期(2017年3月23日)	9,192	10	0.1	95.4	△10.1	2,600
	80期(2017年4月24日)	9,223	10	0.4	95.8	△21.4	2,585
	81期(2017年5月23日)	9,196	10	△0.2	97.2	△9.4	2,555
	82期(2017年6月23日)	9,215	10	0.3	95.5	△21.5	2,514
第15作成期	83期(2017年7月24日)	9,195	10	△0.1	96.3	△13.2	2,491
	84期(2017年8月23日)	9,192	10	0.1	95.4	△26.3	2,475
	85期(2017年9月25日)	9,171	10	△0.1	96.8	△12.3	2,448
	86期(2017年10月23日)	9,131	10	△0.3	96.8	-	2,426
	87期(2017年11月24日)	9,134	10	0.1	96.3	-	2,412
第16作成期	88期(2017年12月25日)	9,112	10	△0.1	96.4	△2.4	2,361
	89期(2018年1月23日)	9,062	10	△0.4	95.9	-	2,316
	90期(2018年2月23日)	9,016	10	△0.4	95.5	△4.1	2,241
	91期(2018年3月23日)	9,037	10	0.3	92.2	△20.8	2,315
	92期(2018年4月23日)	8,980	10	△0.5	94.1	-	2,279
	93期(2018年5月23日)	8,958	10	△0.1	91.5	△7.1	2,237
第17作成期	94期(2018年6月25日)	8,993	10	0.5	90.4	△4.0	2,217
	95期(2018年7月23日)	8,979	10	△0.0	94.3	△8.2	2,194
	96期(2018年8月23日)	8,959	10	△0.1	93.8	-	2,164
	97期(2018年9月25日)	8,895	10	△0.6	94.4	△9.9	2,129
	98期(2018年10月23日)	8,891	10	0.1	94.4	△19.5	2,109
	99期(2018年11月26日)	8,910	10	0.3	95.0	△10.1	2,047
第18作成期	100期(2018年12月25日)	8,941	10	0.5	80.4	△10.1	2,018
	101期(2019年1月23日)	8,937	10	0.1	93.5	△10.2	2,006
	102期(2019年2月25日)	8,952	10	0.3	94.0	△10.7	1,960
	103期(2019年3月25日)	8,971	10	0.3	95.2	△10.8	1,910
	104期(2019年4月23日)	8,931	10	△0.3	95.5	△11.0	1,887
	105期(2019年5月23日)	8,944	10	0.3	95.4	△10.9	1,881
	106期(2019年6月24日)	8,998	10	0.7	93.7	△11.2	1,870

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 債券先物比率は、買建比率-売建比率です。

(注4) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標を定めておりません。

(注5) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

## ■過去6ヶ月間の基準価額の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		債 券 組 入 率	債 券 先 物 率
		円	騰 落 率		
第101期	(期首) 2018年12月25日	8,941	-	80.4%	△10.1%
	12月 末	8,939	△0.0	93.3	△10.3
	(期末) 2019年1月23日	8,947	0.1	93.5	△10.2
第102期	(期首) 2019年1月23日	8,937	-	93.5	△10.2
	1月 末	8,946	0.1	93.9	△10.3
	(期末) 2019年2月25日	8,962	0.3	94.0	△10.7
第103期	(期首) 2019年2月25日	8,952	-	94.0	△10.7
	2月 末	8,939	△0.1	93.9	△10.8
	(期末) 2019年3月25日	8,981	0.3	95.2	△10.8
第104期	(期首) 2019年3月25日	8,971	-	95.2	△10.8
	3月 末	8,979	0.1	95.3	△10.8
	(期末) 2019年4月23日	8,941	△0.3	95.5	△11.0
第105期	(期首) 2019年4月23日	8,931	-	95.5	△11.0
	4月 末	8,939	0.1	95.3	△10.9
	(期末) 2019年5月23日	8,954	0.3	95.4	△10.9
第106期	(期首) 2019年5月23日	8,944	-	95.4	△10.9
	5月 末	8,973	0.3	93.4	△11.0
	(期末) 2019年6月24日	9,008	0.7	93.7	△11.2

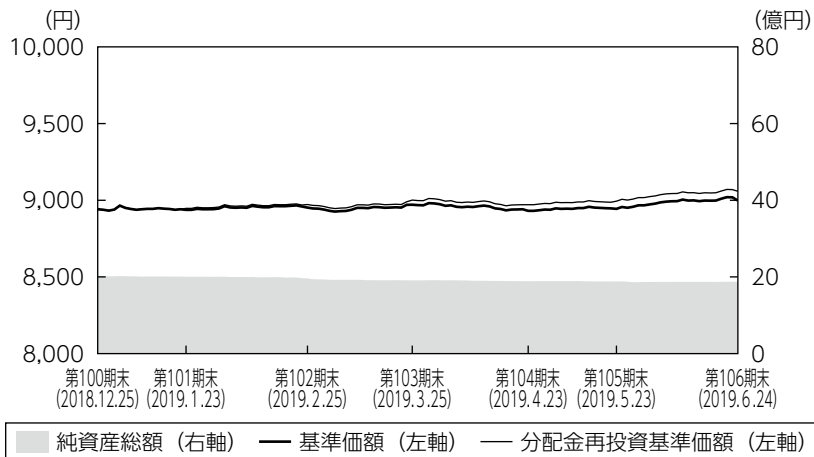
(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 債券先物比率は、買建比率-売建比率です。

## ■第101期～第106期の運用経過（2018年12月26日から2019年6月24日まで）

### 基準価額等の推移



第101期首： 8,941円  
 第106期末： 8,998円  
 （既払分配金60円）  
 騰落率： 1.3%  
 （分配金再投資ベース）

- （注1） 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- （注2） 分配金を再投資するかかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- （注3） 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- （注4） 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

### 基準価額の主な変動要因

米中通商問題の長期化などから景気の先行きに対する悲観的な見方が強まりました。これを受けて米国の中央銀行が利上げペースを減速させ景気をサポートする姿勢に転換したことなどが好感されて先進国全体の国債利回りが低下（価格は上昇）し、基準価額は上昇しました。

## 投資環境

米中通商問題の長期化と深刻化が景気へ悪影響を与えるのではないかとの見方が強まったことから、2019年に入ると各国の中央銀行はそれまでの景気に対して強気なタカ派的な姿勢から、景気をサポートするハト派的な姿勢にシフトし、日本を含む主要国の国債利回りは前作成期末比で低下しました。

## ポートフォリオについて

### ●当ファンド

D I AM内外債券マザーファンドの組入比率を期を通じて高位に維持するように運用しました。

### ●D I AM内外債券マザーファンド

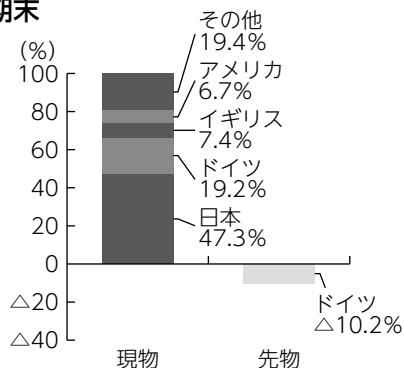
2018年末以降の金利環境が変化していないとの見方から、前作成期末から大きなポジションの変更は行いませんでした。通貨ごとのデュレーション\*については、債券先物によるヘッジ取引を活用して機動的にコントロールしました。

\*金利変動に対する債券価格の変動性。

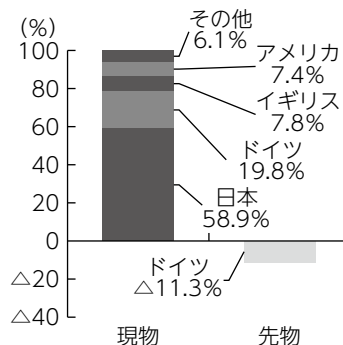
## 【D I AM内外債券マザーファンドの運用状況】

### ○国別構成比

#### 前作成期末



#### 当作成期末



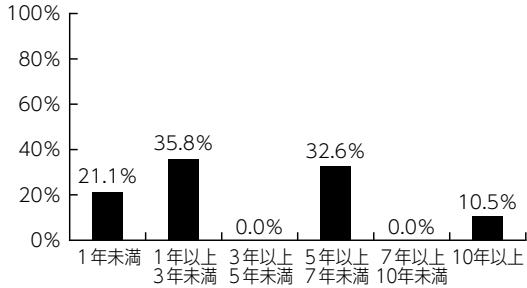
(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注3) 発行国(地域)を表示しています。

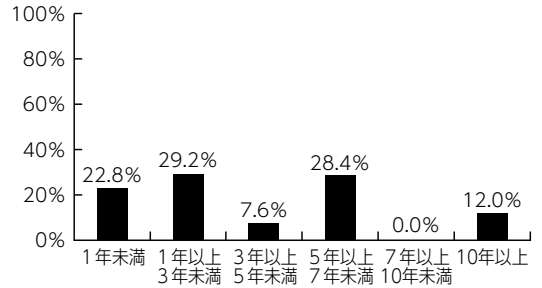
(注4) 先物(売建)はマイナスで表示しています。

○国内公社債の残存年限別構成比  
前作成期末

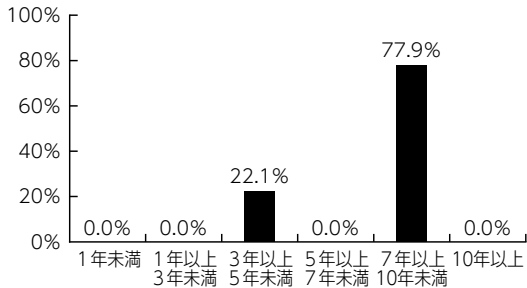


(注) 比率は国内公社債の評価額に対する割合です。

当作成期末

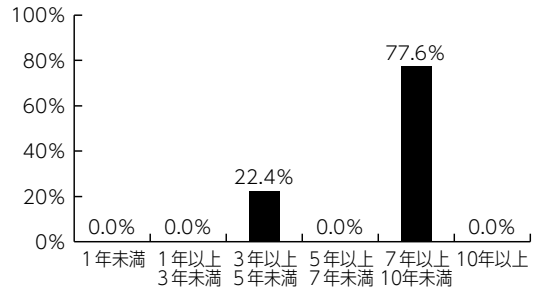


○海外の国債等の残存年限別構成比  
前作成期末



(注) 比率は海外の国債等の評価額に対する割合です。

当作成期末



## 分配金

当作成期の収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

### ■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第101期	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期
	2018年12月26日 ~2019年1月23日	2019年1月24日 ~2019年2月25日	2019年2月26日 ~2019年3月25日	2019年3月26日 ~2019年4月23日	2019年4月24日 ~2019年5月23日	2019年5月24日 ~2019年6月24日
当期分配金（税引前）	10円	10円	10円	10円	10円	10円
対基準価額比率	0.11%	0.11%	0.11%	0.11%	0.11%	0.11%
当期の収益	3円	5円	5円	1円	4円	5円
当期の収益以外	6円	4円	4円	8円	5円	4円
翌期繰越分配対象額	323円	319円	314円	305円	300円	296円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

## 今後の運用方針

### ●当ファンド

引き続き、D I A M内外債券マザーファンドを組入れることにより、実質的な運用を当該マザーファンドで行います。今後もマザーファンドの組入比率を高位に維持します。

### ●D I A M内外債券マザーファンド

世界各国の金融政策の方向性などによって国債利回りの相対的な魅力度は変動するため、各国の経済ファンダメンタルズを注視しながら円債・外債のそれぞれの比率を変更していく方針です。また、債券先物によるヘッジ取引を活用することによって機動的に金利変動リスクをコントロールしていく方針です。

## ■ 1 万口当たりの費用明細

項目	第101期～第106期 (2018年12月26日 ～2019年6月24日)		項目の概要
	金額	比率	
	(a) 信託報酬	27円	
(投信会社)	(11)	(0.123)	
(販売会社)	(14)	(0.160)	
(受託会社)	( 1)	(0.016)	
(b) 売買委託手数料	0	0.000	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(先物・オプション)	( 0)	(0.000)	
(c) その他費用	1	0.006	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
(保管費用)	( 0)	(0.002)	
(監査費用)	( 0)	(0.002)	
(その他)	( 0)	(0.002)	
合計	27	0.305	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 信託報酬率（年率）は、毎年6月および12月の各計算期末において見直すこととし、各前月末における日本相互証券株式会社の発表する新発10年固定利付国債の利回り（終値）に応じて決定され、当該計算期末の翌日から適用するものとします。  
2018年11月30日の新発10年固定利付国債の利回り（終値）は0.085%であったため、信託報酬率は0.6048%（税抜0.560%）を適用しています。

(注3) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

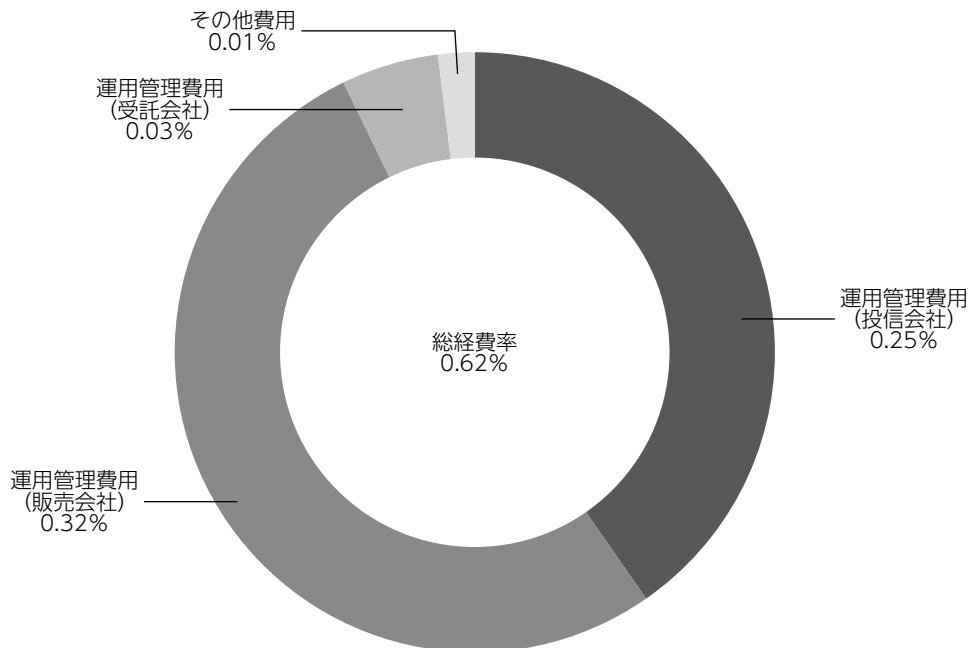
(注4) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。



(参考情報)

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.62%です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■親投資信託受益証券の設定、解約状況（2018年12月26日から2019年6月24日まで）

	第 101 期 ~ 第 106 期			
	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
D I A M内外債券マザーファンド	千□ 2,655	千円 3,000	千□ 161,841	千円 182,100

■利害関係人との取引状況等（2018年12月26日から2019年6月24日まで）

期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細

親投資信託残高

	第17作成期末	第 18 作 成 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
D I A M 内 外 債 券 マ ザ ー フ ァ ン ド	千□ 1,800,056	千□ 1,640,869	千円 1,866,489

## ■投資信託財産の構成

2019年6月24日現在

項 目	第 18 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
D I A M内外債券マザーファンド	千円 1,866,489	% 99.6
コール・ローン等、その他	6,747	0.4
投資信託財産総額	1,873,237	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

(注2) 期末の外貨建資産の投資信託財産総額に対する比率は、2019年6月24日現在、D I A M内外債券マザーファンドは703,704千円、37.5%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2019年6月24日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=107.42円、1イギリス・ポンド=136.94円、1ユーロ=122.24円です。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2019年1月23日)、(2019年2月25日)、(2019年3月25日)、(2019年4月23日)、(2019年5月23日)、(2019年6月24日)現在

項 目	第101期末	第102期末	第103期末	第104期末	第105期末	第106期末
<b>(A) 資 産</b>	<b>2,011,269,323円</b>	<b>1,984,548,019円</b>	<b>1,920,489,920円</b>	<b>1,891,028,239円</b>	<b>1,884,414,860円</b>	<b>1,873,237,326円</b>
コール・ローン等	7,138,272	7,143,852	7,006,255	4,214,271	4,250,921	3,747,948
D I A M内外債券マザーファンド(評価額)	2,004,131,051	1,956,904,167	1,906,483,665	1,883,813,968	1,876,663,939	1,866,489,378
未 収 入 金	—	20,500,000	7,000,000	3,000,000	3,500,000	3,000,000
<b>(B) 負 債</b>	<b>4,583,845</b>	<b>23,584,051</b>	<b>10,116,439</b>	<b>3,031,876</b>	<b>3,364,814</b>	<b>3,074,708</b>
未払収益分配金	2,245,457	2,190,539	2,129,472	2,114,077	2,103,180	2,078,465
未 払 解 約 金	1,364,306	20,295,361	7,089,710	—	319,735	31
未 払 信 託 報 酬	968,008	1,091,307	891,665	912,079	936,027	990,006
その他未払費用	6,074	6,844	5,592	5,720	5,872	6,206
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>2,006,685,478</b>	<b>1,960,963,968</b>	<b>1,910,373,481</b>	<b>1,887,996,363</b>	<b>1,881,050,046</b>	<b>1,870,162,618</b>
元 本	2,245,457,664	2,190,539,912	2,129,472,441	2,114,077,065	2,103,180,981	2,078,465,397
次期繰越損益金	△238,772,186	△229,575,944	△219,098,960	△226,080,702	△222,130,935	△208,302,779
<b>(D) 受 益 権 総 口 数</b>	<b>2,245,457,664口</b>	<b>2,190,539,912口</b>	<b>2,129,472,441口</b>	<b>2,114,077,065口</b>	<b>2,103,180,981口</b>	<b>2,078,465,397口</b>
1万円当たり基準価額(C/D)	8,937円	8,952円	8,971円	8,931円	8,944円	8,998円

(注) 第100期末における元本額は2,258,161,076円、当作成期間(第101期~第106期)中における追加設定元本額は15,260,506円、同解約元本額は194,956,185円です。

## ■損益の状況

〔自 2018年12月26日 至 2019年1月23日〕〔自 2019年1月24日 至 2019年2月25日〕〔自 2019年2月26日 至 2019年3月25日〕〔自 2019年3月26日 至 2019年4月23日〕〔自 2019年4月24日 至 2019年5月23日〕〔自 2019年5月24日 至 2019年6月24日〕

項 目	第 101 期	第 102 期	第 103 期	第 104 期	第 105 期	第 106 期
(A) 配 当 等 収 益	△281円	△264円	△168円	△260円	△258円	△315円
受 取 利 息	—	5	—	1	1	—
支 払 利 息	△281	△269	△168	△261	△259	△315
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	2,327,609	6,640,563	7,104,258	△5,536,454	5,829,005	14,288,145
売 買 益	2,330,956	6,773,097	7,121,271	29,151	5,849,952	14,325,070
売 買 損	△3,347	△132,534	△17,013	△5,565,605	△20,947	△36,925
(C) 信 託 報 酬 等	△974,082	△1,098,151	△897,257	△917,799	△941,899	△996,212
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	1,353,246	5,542,148	6,206,833	△6,454,513	4,886,848	13,291,618
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△164,128,876	△160,732,776	△152,877,032	△147,405,564	△155,074,972	△150,337,071
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△73,751,099	△72,194,777	△70,299,289	△70,106,548	△69,839,631	△69,178,861
(配 当 等 相 当 額)	(35,437,697)	(34,628,474)	(33,690,738)	(33,518,744)	(33,365,591)	(33,006,078)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△109,188,796)	(△106,823,251)	(△103,990,027)	(△103,625,292)	(△103,205,222)	(△102,184,939)
(G) 合 計 (D + E + F)	△236,526,729	△227,385,405	△216,969,488	△223,966,625	△220,027,755	△206,224,314
(H) 収 益 分 配 金	△2,245,457	△2,190,539	△2,129,472	△2,114,077	△2,103,180	△2,078,465
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	△238,772,186	△229,575,944	△219,098,960	△226,080,702	△222,130,935	△208,302,779
追 加 信 託 差 損 益 金	△73,751,099	△72,194,777	△70,299,289	△70,106,548	△69,839,631	△69,178,861
(配 当 等 相 当 額)	(35,438,297)	(34,629,981)	(33,691,221)	(33,519,338)	(33,365,902)	(33,006,524)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△109,189,396)	(△106,824,758)	(△103,990,510)	(△103,625,886)	(△103,205,533)	(△102,185,385)
分 配 準 備 積 立 金	37,233,287	35,304,469	33,233,729	31,139,049	29,877,325	28,553,377
繰 越 損 益 金	△202,254,374	△192,685,636	△182,033,400	△187,113,203	△182,168,629	△167,677,295

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

項 目	第 101 期	第 102 期	第 103 期	第 104 期	第 105 期	第 106 期
(a) 経費控除後の配当等収益	762,092円	1,229,282円	1,069,120円	330,763円	1,020,971円	1,137,907円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収 益 調 整 金	35,438,297	34,629,981	33,691,221	33,519,338	33,365,902	33,006,524
(d) 分 配 準 備 積 立 金	38,716,652	36,265,726	34,294,081	32,922,363	30,959,534	29,493,935
(e) 当 期 分 配 対 象 額 (a+b+c+d)	74,917,041	72,124,989	69,054,422	66,772,464	65,346,407	63,638,366
(f) 1万口当たり当期分配対象額	333.64	329.26	324.28	315.85	310.70	306.18
(g) 分 配 金	2,245,457	2,190,539	2,129,472	2,114,077	2,103,180	2,078,465
(h) 1万口当たり分配金	10	10	10	10	10	10

## ■分配金のお知らせ

決 算 期	第 101 期	第 102 期	第 103 期	第 104 期	第 105 期	第 106 期
1 万口当たり分配金	10円	10円	10円	10円	10円	10円

※分配金を再投資する場合、分配金は税引後自動的に無手数料で再投資されます。

### 分配金の課税上の取扱いについて

- ・追加型株式投資信託の分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
  - 分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
  - 分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、分配金から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における受益者毎の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の受益者毎の個別元本となります。

# D I A M内外債券マザーファンド

## 運用報告書

第9期 (決算日 2019年6月24日)

(計算期間 2018年6月26日～2019年6月24日)

D I A M内外債券マザーファンドの第9期の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2010年9月3日から無期限です。
運用方針	安定した収益の確保と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行います。
主要投資対象	国内公社債および海外の国債等のソブリン債を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

### ■最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債券組入率 比	債券先物率 比	純資産額
	期騰	中落率			
5期(2015年6月23日)	円 10,758	% 1.9	% 97.3	% △8.8	百万円 4,292
6期(2016年6月23日)	11,293	5.0	94.5	△35.3	3,239
7期(2017年6月23日)	11,206	△0.8	95.7	△21.5	2,509
8期(2018年6月25日)	11,149	△0.5	90.5	△4.0	2,213
9期(2019年6月24日)	11,375	2.0	93.9	△11.3	1,866

(注1) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

(注2) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標を定めておりません。

(注3) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

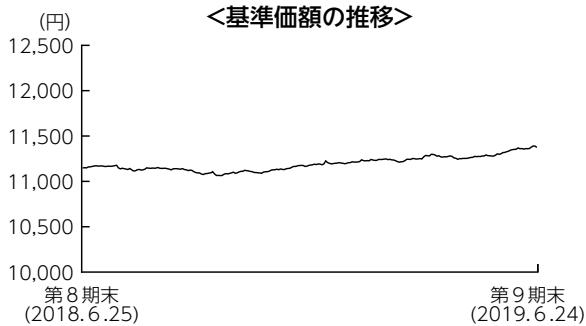
## ■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債券組入比率	債券先物比率
		円	%		
(期 首) 2018年 6 月 25 日	11,149	円	%	90.5	△4.0
6 月 末	11,160		0.1	93.4	△8.1
7 月 末	11,142		△0.1	94.2	△2.2
8 月 末	11,138		△0.1	94.5	－
9 月 末	11,086		△0.6	94.7	△9.9
10 月 末	11,116		△0.3	94.6	△9.8
11 月 末	11,142		△0.1	95.7	△10.2
12 月 末	11,192		0.4	93.5	△10.3
2019年 1 月 末	11,219		0.6	94.1	△10.3
2 月 末	11,228		0.7	94.2	△10.8
3 月 末	11,297		1.3	95.5	△10.8
4 月 末	11,264		1.0	95.5	△10.9
5 月 末	11,327		1.6	93.7	△11.0
(期 末) 2019年 6 月 24 日	11,375		2.0	93.9	△11.3

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

## ■当期の運用経過（2018年6月26日から2019年6月24日まで）



### 基準価額の推移

当ファンドの基準価額は11,375円となり、前期末比で2.0%上昇しました。

### 基準価額の主な変動要因

期初は好調な景気を背景に米国で利上げが行われたため、先進国では全体的に国債利回りが上昇（価格は下落）し、基準価額は下落しました。しかしその後、米中通商問題の長期化などにより景気の先行きに悲観的な見方が強まり、米国の利上げペースが減速したことから国債利回りは低下（価格は上昇）し、基準価額は上昇しました。

## 投資環境

2018年は好調な景気を背景に米国は利上げを行い、欧州は金融緩和から正常化に踏み出しました。しかし、米中通商問題の長期化と深刻化が景気へ悪影響を与えるのではないかとの見方が強まったことから、2019年に入ると各国の中央銀行はそれまでの景気に対して強気なタカ派的な姿勢から、景気をサポートするハト派的な姿勢にシフトし、日本を含む主要国の国債利回りは前期末比で低下しました。

## ポートフォリオについて

国内債券と比べて相対的に期待リターンの高い外国債券のうち、ドイツ長期国債を組入れました。通貨ごとのデュレーション<sup>※</sup>については、債券先物によるヘッジ取引を活用して機動的にコントロールしました。

※金利変動に対する債券価格の変動性。

## 今後の運用方針

世界各国の金融政策の方向性などによって国債利回りの相対的な魅力度は変動するため、各国の経済ファンダメンタルズを注視しながら円債・外債のそれぞれの比率を変更していく方針です。また、債券先物によるヘッジ取引を活用することによって機動的に金利変動リスクをコントロールしていく方針です。



## ■ 1万口当たりの費用明細

項 目	当 期	
	金 額	比 率
(a) 売買委託手数料 (先物・オプション)	0円 (0)	0.004% (0.004)
(b) その他費用 (保管費用) (その他)	1 (1) (0)	0.010 (0.006) (0.004)
合 計	2	0.014

(注) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額(11,195円)で除して100を乗じたものです。なお、費用項目の概要及び注記については7ページ(1万口当たりの費用明細)をご参照ください。

## ■ 売買及び取引の状況 (2018年6月26日から2019年6月24日まで)

### (1) 公社債

			買 付 額	売 付 額
			千円	千円
国	内	国 債 証 券	1,312,965	944,593 (-)
		特 殊 債 券	-	155,027 (500,000)
外	ア メ リ カ	国 債 証 券	千アメリカ・ドル 1,219	千アメリカ・ドル 1,260 (-)
	イ ギ リ ス	国 債 証 券	千イギリス・ポンド 2,281	千イギリス・ポンド 3,524 (-)
国	ユ ー ロ	フ ラ ン ス	千ユーロ 480	千ユーロ 1,669 (-)
	ド イ ツ	国 債 証 券	4,198	1,385 (-)

(注1) 金額は受渡代金です(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

## (2) 先物取引の種類別取引状況

種 類 別	買 建		売 建	
	新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
外国債券先物取引	百万円 -	百万円 -	百万円 2,927	百万円 2,808

(注) 金額は受渡代金です。

## ■利害関係人との取引状況等 (2018年6月26日から2019年6月24日まで)

期中の利害関係人との取引状況

決 算 期 区 分	当 期			期		
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D/C
公 社 債	百万円 2,393	百万円 151	% 6.3	百万円 2,148	百万円 160	% 7.5

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドにかかる利害関係人とは、みずほ証券です。

## ■組入資産の明細

### (1) 公社債

#### A 債券種類別開示

##### (A) 国内（邦貨建）公社債

区 分	当 期			末			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
国 債 証 券	千円 1,070,000	千円 1,099,288	% 58.9	% -	% 23.8	% 4.5	% 30.7
合 計	1,070,000	1,099,288	58.9	-	23.8	4.5	30.7

(注) 組入比率は、期末の純資産総額に対する評価額の比率であり、小数点第2位を四捨五入しています。

##### (B) 外国（外貨建）公社債

区 分	当 期			末				
	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	うち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
ア メ リ カ	千アメリカ・ドル 1,000	千アメリカ・ドル 1,287	千円 138,336	% 7.4	% -	% 7.4	% -	% -
イ ギ リ ス	千イギリス・ポンド 1,000	千イギリス・ポンド 1,068	千円 146,334	7.8	-	-	7.8	-
ユ ー ロ	千ユーロ	千ユーロ	千円					
ド イ ツ	2,800	3,017	368,798	19.8	-	19.8	-	-
合 計	-	-	千円 653,468	35.0	-	27.2	7.8	-

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、期末の純資産総額に対する評価額の比率であり、小数点第2位を四捨五入しています。

B 個別銘柄開示（邦貨建及び外貨建）

(A) 国内（邦貨建）公社債

銘柄	柄	当期			末
		利率	額面金額	評価額	償還年月日
<b>(国債証券)</b>		%	千円	千円	
388回	利付国庫債券（2年）	0.1000	250,000	250,712	2020/05/15
395回	利付国庫債券（2年）	0.1000	320,000	321,520	2020/12/01
333回	利付国庫債券（10年）	0.6000	80,000	83,317	2024/03/20
340回	利付国庫債券（10年）	0.4000	170,000	177,058	2025/09/20
341回	利付国庫債券（10年）	0.3000	130,000	134,759	2025/12/20
59回	利付国庫債券（30年）	0.7000	120,000	131,920	2048/06/20
合計		—	1,070,000	1,099,288	—

(B) 外国（外貨建）公社債

銘柄	柄	当期					末
		種類	利率	額面金額	評価額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
<b>(アメリカ)</b>			%	千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル	千円	
US T N/B 5.5 08/15/28		国債証券	5.5000	1,000	1,287	138,336	2028/08/15
小計		—	—	1,000	1,287	138,336	—
<b>(イギリス)</b>			%	千イギリス・ポンド	千イギリス・ポンド	千円	
UK TREASURY 2.25 09/07/23		国債証券	2.2500	1,000	1,068	146,334	2023/09/07
小計		—	—	1,000	1,068	146,334	—
<b>(ユーロ…ドイツ)</b>			%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
DEUTSCHLAND 0.5 02/15/28		国債証券	0.5000	2,800	3,017	368,798	2028/02/15
小計		—	—	2,800	3,017	368,798	—
合計		—	—	—	—	653,468	—

(2) 先物取引の銘柄別期末残高

銘柄	柄	別	当期		末
			買建額	売建額	額
外国	EURO - BUND FUTURE		百万円		百万円
			—		210

(注) 外貨建の評価額は、期末の時価を期末の仲値により、邦貨換算したものです。

## ■投資信託財産の構成

2019年6月24日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 1,752,757	% 93.4
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	123,267	6.6
投 資 信 託 財 産 総 額	1,876,025	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

(注2) 当期末の外貨建資産の投資信託財産総額に対する比率は、703,704千円、37.5%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2019年6月24日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=107.42円、1イギリス・ポンド=136.94円、1ユーロ=122.24円です。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2019年6月24日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	2,567,034,219円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	79,334,678
公 社 債(評価額)	1,752,757,314
未 収 入 金	701,992,525
未 収 利 息	3,943,414
前 払 費 用	35,506
差 入 委 託 証 拠 金	28,970,782
(B) 負 債	700,626,178
未 払 金	697,626,178
未 払 解 約 金	3,000,000
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	1,866,408,041
元 本	1,640,869,783
次 期 繰 越 損 益 金	225,538,258
(D) 受 益 権 総 口 数	1,640,869,783口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,375円

(注1) 期首元本額 1,985,597,562円  
追加設定元本額 3,557,693円  
一部解約元本額 348,285,472円

(注2) 期末における元本の内訳  
D I A M毎月分配債券ファンド 1,640,869,783円  
期末元本合計 1,640,869,783円

## ■損益の状況

当期 自2018年6月26日 至2019年6月24日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	20,001,901円
受 取 利 息	19,913,739
そ の 他 収 益 金	134,898
支 払 利 息	△46,736
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	34,689,161
売 買 益	132,485,455
売 買 損	△97,796,294
(C) 先 物 取 引 等 取 引 損 益	△16,323,484
取 引 益	2,250,214
取 引 損	△18,573,698
(D) そ の 他 費 用	△199,835
(E) 当 期 損 益 金(A+B+C+D)	38,167,743
(F) 前 期 繰 越 損 益 金	228,242,736
(G) 解 約 差 損 益 金	△41,314,528
(H) 追 加 信 託 差 損 益 金	442,307
(I) 合 計(E+F+G+H)	225,538,258
次 期 繰 越 損 益 金(I)	225,538,258

(注1) (B)有価証券売買損益および(C)先物取引等取引損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

(注3) (H)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。